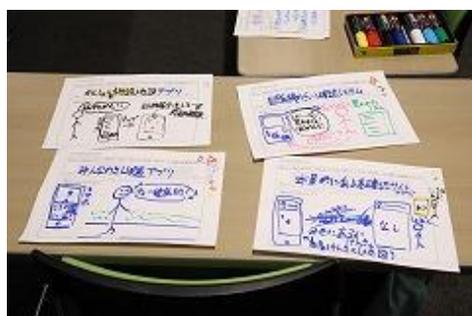


アイデアソン・ハッカソン概要

- 日時: 2023年11月18日(土)・12月16日(土) ※ハッカソンに先立ち、ハンズオン講習会・座学講習を 10/7, 10/14, 10/28, 11/4 計4回 実施。
- 会場: 情報通信交流館e-とぴあ・かがわ
- 主催: Web x IoT メイカーズチャレンジ PLUS 香川運営委員会、スマートシティたかまつ推進協議会
- 共催: かがわ情報化推進協議会、電子情報通信学会四国支部
- 協賛: 四国情報通信懇談会、情報処理学会四国支部、教育システム情報学会四国支部
- 協力: Web x IoT メイカーズチャレンジ PLUS 中央実行委員会
- 後援: 総務省四国総合通信局、Beyond 5G新経営戦略センター、香川県、高松市、香川大学、香川短期大学、日本電気株式会社 四国支社、日本Androidの会
- 参加者: 社会人 4名、短大生・高校生 5名(アイデアソン・ハッカソン当日欠席1名) / 3チーム ※講習会受講者は、計53名
- 概要: 電波リテラシーやIoTの基礎等、講習会で学習した知識や技能を活かし、IoTを活用した課題解決をテーマにしたアイデアを出し合い、IoTシステムプロトタイプを作成し、チーム毎に出来を競った。



ベース機材
M5Stackシリーズ



最優秀賞: スマートコミュニケーションキーホルダー (チーム名:カタン)

香川短期大学生3名の作品。初対面の人と話す機会が欲しいけれど、何を話したらいいかわからないという問題を解決するためのデバイス。M5StackとNFCタグを使用してぬいぐるみ同士で手を繋ぐだけでお互いのプロフィールが交換できる。交換したプロフィールはスマホで確認が可能。ボランティア活動に参加した際に、気軽にコミュニケーションを図れるツールが欲しいと感じたことがきっかけ。

散歩している人同士のコミュニケーションをとりやすくする作品。プロフィール交換を機能させ、互いのことを知ることも可能となる。また、自動車のフロントガラスが、曇りや凍結によって、安全や時間が奪われてしまうことを事前に予想する作品が作られた。今回のアイデアソンでは、自分の街をベースに「もっとすみたくなる・訪れたい香川を目指して!」をテーマとして、日常の中にある「こうなるといいな」を考えてもらった。



目的	主に初学者を対象として、標準技術やOSS利活用についての理解を深めながら、ノーコード・ローコードデバイスも活用したハンズオン形式の講習会やハッカソンでの開発体験を通し、実践的なスキルアップの機会提供を行いSociety 5.0時代に特に必要とされるエンジニア人財の育成を目指す。		
使用環境	M5Stack および M5Stack適合センサー類、JavaScript、httpリクエストとGoogleスプレッドシートの連携、スマートシティたかまつIoT共通プラットフォーム（FIWARE）等を紹介し、IoTの構想を示した。講習会での開発環境はWindows11を使用した。		
運営委員会	主査	米谷 雄介氏 香川大学 情報化推進統合拠点 准教授	
	参画自治体	香川県、高松市	
	参画教育機関	香川大学、香川短期大学	
	事務局	情報通信交流館（e-とぴあ・かがわ）	
	ハンズオン講習会	アイデアソン・ハッカソン体験	
日程	10月7日(土),10月14日(土), 10月28日(土), 11月4日(土), 11月18日(土)		11月18日（土）、12月16日（土）
会場	情報通信交流館e-とぴあ・かがわ		情報通信交流館e-とぴあ・かがわ
参加者数	延べ 53名 下記の5講習会合計		9名 3チーム
プログラム	① 簡易的なIoT試作（M5Stack） 10月7日(土) 13名 ② JavaScript 講習会 10月14日(土) 12名 ③ IoTとWebの連携 10月28日(土) 10名 ④ IoT応用 11月4日(土) 9名 ⑤座学講習（標準技術とOSS利活用の意義）11月18日(土) 9名		<ul style="list-style-type: none"> アイデアワークショップ チーム毎による作品制作(ソフトウェア/ハードウェア) 成果発表（作品のデモ） 作品審査および結果発表
講師／審査員	講師	① 大沢 和弘 氏 (e-とぴあクラブ えれくら) ② 岩倉 洋平 氏 ((香川短期大学 講師) ③④ 米谷 雄介 氏 (香川大学情報化推進統合拠点 准教授) ⑤深見 嘉明 氏 東京理科大学 経営学部 国際デザイン経営学科 准教授	審査員 <ul style="list-style-type: none"> 米谷 雄介 氏 香川大学 情報化推進統合拠点 准教授 瀧田 佐登子 氏 (一般社団法人 WebDINO Japan 代表理事 /WIMC PLUS 中央実行委員会 副査) 眺 直紀 氏 SoFunせとうち株式会社 代表
	表彰	チームカタンの『スマートコミュニケーションキーホルダー』 香川短期大学の学生3名の作品。 香川短期大学生3名の作品。初対面の人と話す機会が欲しいけれど、何を話したらいいかわからないという問題を解決するためのデバイス。M5StackとNFCタグを使用してぬいぐるみ同士で手を繋ぐだけでお互いのプロフィールが交換できる。交換したプロフィールはスマホで確認が可能。ボランティア活動に参加した際に、気軽にコミュニケーションを図れるツールが欲しいと感じたことがきっかけ。散歩している人同士のコミュニケーションをとりやすくする作品。プロフィール交換を機能させ、互いのことを知ることも可能となる。授業でのアイスブレイクなど利用シーンを具体的に描いてほしい。	